



山村美咲子 議員

「行政運営改革」について

問 行政の仕事を効果的、効率的に進めるために、行政評価を取り入れるなどの取り組みが必要です。また、公民館、はしお元氣村、グリーンパレス等の公共施設の有効利用の考え方をお聞きします。

山村町長 行政評価は、まちづくりの課題や実際の仕事の結果を振り返り、次の企画と実施に反映させ、より高次な結果を追及していく総合的なマネジメントの仕組みである。必要性は感じており、今後研究していく。公共施設の管理は、民間の能力を活用する「指定管理者制度」の研究、検討を行っている。

青少年の「インターネット依存」対策について

問 インターネットにより、健康や生活に支障を来すネット依存の中学生・高校生が推計51万8千人に入る。日常生活の中で発する依存

のサインを見逃さないよう保護者や教師へも啓発し、子供たちにも、その怖さを認識させることが重要である。ネット依存者を出さない取り組みについてお伺いします。

松井教育長 対策は急務である。

ネット依存の危険についてよく知り、医療、行政、教育現場が連携して、子どもをネット依存から守っていく必要がある。生徒指導を通じて、正しいネットの使い方について理解を促していく。

いじめ防止対策について

問 平成25年9月議会で質問し、「広陵町いじめ防止基本方針」を定め、町、学校が一体となつていじめの防止に努めていく。また、「いじめ問題対策連絡協議会」を本町においても早期に設置し、対応していく」と答弁して頂きました。町及び学校の方針についてお聞かせください。

松井教育長 現在、各学校において「学校いじめ防止基本方針」の策定を進めている。「いじめ防止対策委員会」が学校で既に組織されている。「広陵町いじめ防止基本方針」は、県の方針と整合性をもつて示していく。

子育て新制度 来年実施は無理



山田美津代 議員

問 内閣府は子ども子育て支援新制度実施には1兆円の財源が必要と言っているが7千億円しか手当てできず、3千億円をどう捻出するかまだ決まっていないのに来年から実施をするように各市町村に準備を進めさせています。平成27年4月からの実施は延期するなり中止をするべきではないか。

山村町長 7千億円が支援制度に対する財源として確保されており、3千億円についても国がその確保に努力されるものであり準備を進めている。ニーズ調査の結果を3月28日の子育て会議で報告をして、事業計画について検討いただく。

安全な県道にするために

問 県道河合大和高田線を安全に通行できる道にするため、町として土木事務所に出され工事実施している。機会毎に要望をしてほしいが、抜本策がなく安全対策のため

にできることから進めたいただくようお願いを続けてまいります。

太陽光発電への 町としての補助を

町としてエネルギーへの考えが問われる。国が「重要なベースロード電源」と原発を位置づける「エネルギー基本計画案」を決定した。原発事故への国民の不安と「原発〇」への強い願いを踏みにじるもの。

山村町長

自治体として裁量は極めて限定されるもの、容易に再稼働されるものではないとの認識を持つ

